

中学受験、高校受験の先まで見据えた骨太の教育 貞学力主義

学校の定期テストのための枝葉の部分の知識よりも長期的な生きた学力が大切です。
それはつまり、日々の勉強という営みから、学力と独立心を育み、
子供たちの未来を切り開いていくことなのです。

—数学(算数)、国語を軸にした総合学力の向上—
—独立心を育てる—
弘文進学教室
KOBUN SHINGAKU
since 1985

当学習塾が目指すもの

高校受験対策を中心とした学習塾「弘文進学教室」をスタートさせたのが1985年4月のことであり、生徒の「独立心を育てる」ことを教育理念とした本格的な学習塾として現在に至っています。

では、「独立心」とは何か?ここでいう独立心とは「周囲に安易に同調せざるやうな常識とされていることのうちにしないで、自分自身の感性や意見を持つことによって集団の中で埋没しない」ことです。受験指導をする学習塾がなぜその「独立心」を大切にしているのか疑問に思われる方もいらっしゃるでしょう。

高校受験や学校の定期テストなどの試験は結果として解答の暗記を求めるケースが多くあります。それでは「自分には何が足りないのか?そしてそれを補うためにはどうしたらよいのか?」そんな主体性を持った「真の考え方」を得ることはできません。学校の定期テストや地域の模擬試験での好成績、高校受験による志望校合格といった目先の狭いステージから脱却して、全国区である大学受験を勝ち抜き、さらには社会に出て「生きる力」を備えた生徒を育していくことが当学習塾の使命であると考えます。なぜなら、大人になって社会に出た際にぶつかる問題の多くが、知識を「活用」した多角的な総合判断によって解決すべきものであり、暗記した知識のアウトプットでは解決できないものが多いからです。小学生・中学生の時期から考える力を養うためにも「弘文進学教室」では、学校の定期試験や高校受験に必要な事柄にとどまらず、多くのことを教える事ができる学習塾でありつけます。その結果、教育の流行スタイルやブームに惑わされない真の学力を持った次世代の人材が育成されます。

その、ぶれることのない教育方針によって当学習塾は、高校受験において仙台二高などの難関高校や首都圏の有名私立高への合格を経て、東大、京大、医学部、一橋大、早慶、東北大などの大学を卒業し、各分野で活躍する人材を多く輩出しております。

学力テストについて

全国版での学力診断

当教室で行なっている学力テストは、全国の学習塾に通っているたくさんの生徒たちが同時に受験しているテストです。大学入試が全国区で行なわれる以上、地方区分ではなく、母集団の大きい全国区でのテストの方が、より客観的に学力測定ができます。また、このテストは全国各地で実施されており、全国のほとんどの学校に対して志望校判定ができるため、転勤等の理由での県外受験にも十分対応できます。宮城県内外の豊富な受験情報が得られるので、どの高校を受験すべきかの精度の高い判断資料となります。

小学生【基礎学力の定着】

小1～小4までは、何よりも安定した学習習慣が大切です。そのためには、基礎的なことの反復練習はもとより、いわゆる「小学生」らしくはない疑問、好奇心についても、塾や家庭で話題にしながら、何を調べればよいのかなどちょっとした解決手段や方法を教えてあげるべきです。学校の勉強の枠内にとどめておいてはいけません。「小学生新聞」でも「学習漫画」でもお母さんが読んでいる本でも何でもよいのです。とにかく、文科省の画一的な指導要領にとらわれない知識欲を刺激してあげることが大切です。当教室での「算数」や「国語」は、生徒を型にはめないよう、素朴で高度な疑問にも直截(じくせつ)に取り組んでいます。子育ての不安から、その日々の流行にどうしてもとびついてしまいがちですが、中途半端な頭脳開発や語学力は自己満足の域を出ず、かえてその後の学習を妨げることになります。子どもとのコミュニケーションなど、身近なところにこそ能力開発の種が豊富にあるのです。

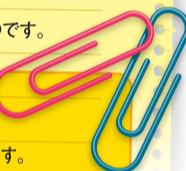
小5、小6は、将来の高校受験、大学受験の根幹をなす、とても重要な時期です。十分な国語力と数理的処理能力を身につけさせるため、日々のトレーニングが欠かせません。この時期に培った能力は、その後の勉強にとっての大きな財産となります。公立中高一貫校受験のための対策として、情報分析力、思考力、課題解決力、論述力を高めようということで、演習教材に取り組むことそれ 자체はよいのですが、基礎力の定着がない上で、安易に学習を進めた場合、空回りに終わる結果となり、小学知識を身につける十分な機会を逃してしまう弊害をもたらします。当教室では、このような点を踏まえて、適性検査対策を行う場合でも合否の結果にかかわらず、十分な学力を備えて中学に進めるよう意を配っています。また、小学英語についても、自己満足で終わらないように、受験英語としても実のあるものとなるように、文法中心の指導から始めています。

中学生【大学受験のための土台づくり】

中1生にとって、大学受験まであと6年です。公立の中学生の場合、3年後に高校受験といいう一試験が待っていますが、これはあくまでも通過点にすぎません。中学3年間に、いかに大学受験の基礎固めをするか、これにより8割が将来を決するといつても過言ではないでしょう。そのためには、大学入試を要求される内容を分析し、逆算して、中学の時期にやっておくべきことは、たとえ、学習指導要領外の発展的内容であっても、周到に準備を怠らないことが求められます。

現実には、中学校での生活は、部活動や定期テスト、それに様々な学校行事で多忙を極め、毎日与えられたことをこなしていくだけせいっさいかもしれません。しかし、家庭の中での何気ない会話やマスコミ情報などを通じて、視線をちょっと将来へ向け、自分の目標を立てることはできます。こうした子どもの意識改革を促し、フォローしてあげてその上でしたかな戦略を練って次世代を育てることが、まさに、われわれ周りの大人们の責任でしょう。

塾と家庭が一体となって長期的視野を持つことにより、通過点としての高校入試にもぶれないで冷静に臨むことができるのです。



講座・諸費用について

入学金

12,000円
・在籍生、卒業生の兄弟姉妹については免除になります。
・当教室を以前卒業された方のご子女についても免除となります。

必修講座

■月額授業料の基本システム

週1回(120分)-1教科-	週2回(120分×2)	週3回(120分×3)
13,000円	19,000円	25,000円

※個々の生徒の年間学習計画に沿った、個人授業の費用です。

※受講教科、通学曜日は自由に設定できます(振替も可)。

標準コース(当教室が全責任をもっておすすめするコースです)

標準コースでは、同一世帯より、同時に二人以上通学の場合、若年齢の生徒は、授業料半額となります(但し、小6～中3)。

■小学生の部

学年	講座	教科	通学回数	時間数	月額授業料	年間教材費(半期分)	テスト代(半期分)	雑費(半期分)
中1	必修	英・数・国	週3回	週6時間	25,000	12,000	8,000	3,000
	完成	理・社		週2時間	6,000	6,000	—	—
	演習	英語 数学		各週1回 各2時間	各7,000	各3,000	—	—
中2	必修	英・数・国	週3回	週6時間	25,000	12,000	8,000	3,000
	完成	理・社		週1回 遅2時間	6,000	6,000	—	—
	演習	英語 数学		各週1回 各2時間	各7,000	各3,000	—	—
中3	必修	英・数・国・理・社	週4回	週8時間	31,000	18,000	9,000	3,000
	演習	英語 数学		各週1回 各2時間	各7,000	各3,000	—	—
	二高選抜	ハイレベル英・数		週2回	週4時間	17,000	15,000	9,000
	S選抜	(首都圏難関私立高)		トッピングレベル 英・数				

■中学生の部

学年	講座	教科	通学回数	時間数	月額授業料	年間教材費(半期分)	テスト代(半期分)	雑費(半期分)
中1～高3	難関大合格のための中高一貫プログラム	トッピングレベル 数学	週2回	週4時間	25,000	購入を依頼された教材につき 実費分	—	3,000
	完成	理・社		週1回 遅2時間	6,000	6,000	—	—
	演習	英語 数学		各週1回 各2時間	各7,000	各3,000	—	—
高1～3既卒	個別対応	数学	希望する回数	希望する時間数	月額授業料の基本システムを参照	購入を依頼された教材につき 実費分	—	3,000
	完成	理・社		週1回 遅2時間	6,000	6,000	—	—
	演習	英語 数学		各週1回 各2時間	各7,000	各3,000	—	—

■中高一貫校生の部

学年	講座	教科	通学回数	時間数	月額授業料	年間教材費(半期分)	テスト代(半期分)	雑費(半期分)
中1～高3	難関大合格のための中高一貫プログラム	トッピングレベル 数学	週2回	週4時間	25,000	購入を依頼された教材につき 実費分	—	3,000

※仙台青陵、仙台二高、秀光中等教育学校などの中高一貫校に在籍する生徒のための講座です。

■高校生・既卒生の部

学年	講座	教科	通学回数	時間数	月額授業料	年間教材費(半期分)	テスト代(半期分)	雑費(半期分)
高1～3既卒	個別対応	数学	希望する回数	希望する時間数	月額授業料の基本システムを参照	購入を依頼された教材につき 実費分	—	3,000

※「個別対応」の内容は、各高校別の教科書、傍用問題集に準拠した定期テスト対策から、センター試験対策、難関大学入試問題の解き方指導に至るまで、広範囲にわたります。(数学IA、IB、II、III)

「活用力」の強化

2012年度より学習指導要領が全面改訂となり、数学・理科の高度化、英語での文法重視などに加え、全教科にわたって「活用力」の強化が打ち出されています。

また、2013年度より、宮城県の公立高校入試において、前期選抜、後期選抜が導入され、上位校での学力重視が顕著になっています。

さらに、現在進行中の「大学入学者選抜の改革」では、今後の「入試」という場面ではかかる力は、「習得した知識や技能の量ではなく、「思考力、判断力、表現力」であり、各教科・科目を横断する「資質・能力」が重視される方向へと向かっています。

自前のテストに惑わされず、日々の学習により学力そのものを高めていくノウハウは、当教室が長年にわたって培ってきたものであり、これまでの進学実績が示す通り、まさに真骨頂とするところです。

<2月末日までお申込みの方は入学金免除>

新年度新学期3月開講

～一人ひとりの
必死な願い～
高校入試の合格実績は、
教室内に掲示してあります。

**応援
します!**

文部科学省後援事業 語検 すべての生活力の基礎となる日本語 日本語検定 準会場

弘文進学教室

TEL. 022(378)7677

〒981-3212 仙台市泉区長命ヶ丘2-7-12

http://www.koubunshingaku.com

16:00～21:30
に承ります
(日曜、祝日を除く)

弘文進学教室 検索

